

分けるには **ワケ** がある

技術セミナー

リサイクルのための 分離技術の基礎と新展開

北京オリンピックも成功裡に終了し、今後の中国の動向も気になるころではありますが、まずは、日本の資源循環システムをいかに適正化するかが、我が国の持続的発展に不可欠の課題と考えます。資源・素材学会ではこうした観点から種々の活動を行って参りましたが、この度、「3Rを支えるセパレーションテクノロジーに関する調査研究委員会」にて3年間議論してきた成果を踏まえて、標記技術セミナーを開催いたします。古くから「混ぜればゴミ、分ければ資源」と言われるように、分離技術は資源循環を支えるキーテクノロジーであり、その基礎と新展開について、我が国の第一線で活躍する主要大学・研究機関の若手研究者が、優しく分かりやすく講述します。また、循環型社会のキーインダストリーであるセメント・非鉄製錬業の経験豊富な技術者からはその応用と課題をご紹介します。粉碎・選別・化学処理等の実務に携わる方々、もう少しこうした分野の理解を深めたいと思われる方々、是非、ご参加いただき、これからの当分野を支える研究者・技術者と交流を深めていただきたいと思います。

2008年11月4日(火)

早大理工キャンパス内、55号館1階大会議室

主催：資源・素材学会
(3Rを支えるセパレーションテクノロジーに関する調査研究委員会)
共催：資源素材学会「資源リサイクル部門委員会」、
「粉体精製工学部門委員会」、
環境資源工学会、廃棄物学会
協賛：クリーン・ジャパン・センター

参加費無料

9:30～10:00 リサイクルにおける分離技術総論：早稲田大学・大和田秀二
10:00～10:45 粉碎・単体分離と分離成績評価法：早稲田大学・所千晴
10:45～11:30 スクリーニング・分級、比重選別：産総研・大木達也
11:30～12:15 ソーティング、電氣的・磁氣的選別：秋田大学・柴山敦
12:15～13:15 ……昼食……
13:15～14:00 界面化学的処理(浮選・凝集)：京都大学・日下英史
14:00～14:45 化学的処理(バイオ処理、乾式/湿式処理)：北海道大学・広吉直樹
14:45～15:00 ……休憩……
15:00～15:45 銅系スクラップ処理プロセスの新提案：北海道大学・伊藤真由美
15:45～16:30 セメント業におけるリサイクル技術：太平洋セメント・三浦啓一
16:30～17:15 非鉄製錬業におけるリサイクル技術：DOWAIシステム・加藤秀和
17:30～19:00 交流会

参加申込：ご所属・ご氏名・交流会への参加の有無をお書きいただき、なるべく E-mail にて
下記までお申し込みください。早稲田大学理工学術院・創造理工学部環境資源工学科 大和田秀二

〒1649-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1, Tel/Fax: 03-5286-3319, E-mail: owadas@waseda.jp